

鵜沼小学校へ避難する方の心得

鵜沼小学校防災連絡協議会

避難施設は自宅が倒壊などで生活できない人のためのものです。

自宅が無事なら自宅で生活しましょう。救援物資が届けば、在宅でも供給は受けられます。それまでの間は自宅の備蓄でしのぎます。

避難所の受け入れ能力はわずかしがなく、入所しても一人分のスペースは2㎡（畳一畳）のみ、プライバシーの確保や衛生面も不十分です。

イザという時パニックにならないよう、日頃から最悪の事態に備えておきましょう。

<避難所生活の基本ルール>

- 避難所の設営や運営は避難した皆さまが行います。
- 町内会単位の行動が原則です。
- 体育館など建物は安全確認が済むまでは入れません。……（地震の場合）
建物内は土足禁止。上履きなどを持参ください。
- 校舎内のトイレは使用禁止です。（水を流せない）……（地震の場合）
持参の処理袋（携帯トイレ）で用を足します。設置されるマンホール型トイレは質量ともに限界があります。
☆ どの避難所でもトイレが最大の課題であり、その解決策は携帯トイレです。
- 水、食料、携帯トイレの備蓄はありません。（各自持参ください）
- ペットは連れて来ないでください。自宅や知人宅などにおいて来てください。
- 車で避難生活は禁止です。歩行困難者の送迎後、車は自宅に。
- その他、薬、防寒用品など各自必要なものを持参ください。

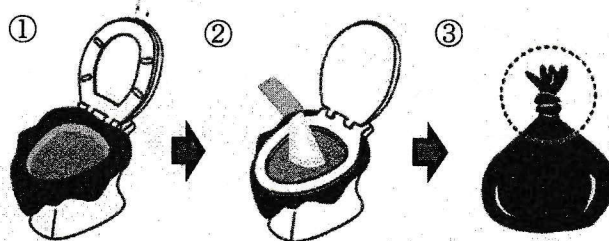
以上

<参考>

1. 備蓄の目安（食料・携帯トイレ）……最低3日分。好ましいのは7日分
 - ①一人一日当り 食料：3食、飲料水：3L、携帯トイレ：5回分
 - ②4人家族7日分は 食料：84食、飲料水：84L、携帯トイレ：140回分
2. 携帯トイレの使い方

まず、腰掛便座を上げて、ポリ袋で便器をスッポリ覆う。（溜っている水との遮断が目的、毎回変えなくてよい）

- ① 便用袋を便器に広げる
- ② 排泄後、抗菌消臭吸収剤をふりかけると
排せつ物が固まる
- ③ しっかり結び、可燃ごみとして処分する



*費用と入手先：1回分 100円程度、ホームセンターやインターネットなどで購入できる

*携帯トイレが無い場合：ポリ袋とネコ砂や細かく千切った新聞紙で代用できる